



小笠東小学校

学校だより



「自信をもち 自分の力を発揮する子」

令和5年1月27日

1 児童・保護者 アンケート結果

日頃より、学校の教育活動への御理解・御協力をいただき、ありがとうございます。今回のアンケートでは、自己肯定感に関する項目、連携に関する項目で、強い肯定（かなり当てはまる）が向上しました。児童が中心になって考えた「～すれば学校は楽しくなるはず」から発見した「さしすせそ授業」への取り組みが、ペコチューブで共有され、全校の具体的な目標になり、楽しい学校づくりに取り組んだ成果だと考えます。

また、自分も相手も大切にしたい言動ができている（あいさつ、さん付けの項目）と自信をもつ児童が増えています。地域の皆様からも「いつでも挨拶ができる学校になっている」という声をいただいております。児童の自信につながっています。第2回学校評議委員会では、「穏やかな表情で、落ち着いて学習に取り組む姿が素晴らしい、難しい学習内容にも意欲的に取り組む姿が立派だ」というお言葉をいただきました。

【児童・保護者 アンケート結果】

	項目	令和3年度		令和4年度	
		肯定的	強い肯定	肯定的	強い肯定
	★菊川市共通数値目標 ○岳洋学舎共通数値目標				
自己肯定感	★学校が楽しい。	91.9	68.5	93.3	68.8
	★みんなで何かするのは楽しい。	96.8	82.9	96.2	83.7
	○自分からあいさつをしている。	90.1	61.3	86.5	63.9
	相手の名前にさん付けしている。	95.0	72.1	94.7	82.7
学力	★授業に主体的に取り組んでいる。○(学舎)主体性	93.7	49.8	86.5	44.2
	★授業がよくわかる。	91.9	54.3	90.9	55.3
	相手の考えを受け入れて温かく聞いている。 ○(学舎)人間関係形成能力	94.6	58.4	94.2	54.3
	★学級と友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う。 ○(学舎)多面的・多角的思考	89.6	49.8	75.0	39.4
	R3 授業でICTを活用している。	97.7	毎日 72.1		
	★R4〔1、2年生〕 授業では、コンピューターなどのICTをどの程度使用したか。			週1回以上 96.7	毎日 80.3
	★R4〔3年生以上〕 ①授業でタブレットを使って調べ学習を行った。			週1回以上 94.6	毎日 68.7
	②授業でタブレットを使って自分の考えを表現したり、友達と意見の交流をしたりした。			週1回以上 88.4	毎日 44.9
	家で予習をしている。	71.9	39.8	62.0	31.7
	家で復習をしている。	83.2	59.0	79.8	47.6
連携	★地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある。	72.9	31.2	76.4	36.5
	★学校に、信頼することができる先生がいる。	88.7	69.4	94.2	72.6
	学校は積極的に情報発信している。(保護者)	96.4	46.7	97.1	41.8

2 令和4年度の成果と課題

(1) 成果

ア 「楽しい学校」のイメージの共有

児童会が中心となり「自慢の6年生のさしすせそ授業」の動画(ペコチューブ)を全校に広めたことにより、授業の具体的な姿を全校で共有できました。また、全校一斉に取り組んだICT活用授業や子どものつぶやきを大切にした授業を充実させたことが、自己肯定感の向上につながりました。

イ 「思いやり環境」への意識

令和2年度に始まった「ぺこりあいさつ」や、「相手の名前にさんをつける」ことへの意識の高まりから、自分も相手も大切にしたい言動ができていると、自信をもって答えられる児童が増えています。地域の皆様にも温かい言葉をかけていただき、児童の「思いやり環境」が育っています。

ウ 地域や社会への参画意識の向上

総合的な学習の時間を中心に、地域の企業や地域の方々との連携を意図的・計画的に行い、学習を進めてきました。地域や社会をよくするために何をしたらよいか考えることができる児童が増えています。

(2) 課題

ア 自分と他者のよさや可能性を認識し、のばしていく力

「授業がよくわかる」の強い肯定が54.3%(令和3年度)から55.3%(令和4年度)に向上しましたが「授業に主体的に取り組んでいる」の肯定的評価が93.7%(令和3年度)から86.5%(令和4年度)に低下しています。また、「話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広めたりできていると思う」の肯定的評価も89.6%(令和3年度)から75.0%(令和4年度)に低下しています。これらのことから、主体性を向上させる必要があると分析します。主体的に友達と関わり、力を付けられるよう、支援していきます。

イ 自己を見つめる力

「家で予習・復習をしている」の肯定的評価が低下しています。音読、漢字の練習など明日の授業のための学習は予習であり、プリントやタブレットでの学びなど、学習したことを再度確認することは復習であることを、再度確認し、児童が毎日の家庭学習に取り組めるようにしていきます。

3 令和5年度の小笠東小学校の教育活動

自分と他者のよさや可能性を認識し、お互いに伸ばしていける児童を目指し、教育目標を「自信をもち 自分の力を発揮する子」(岳洋学舎共通教育目標)とし、重点目標を「自分も みんなも ぐんぐんのびよう」とします。

4 めざす子どもの姿

- (1) 自分とみんなのよさや可能性を「見つける1学期」
- (2) 自分とみんなのよさや可能性を「ぐんぐんのばす2学期」
- (3) 自分とみんなのよさや可能性を「バトンでつなぐ3学期」

5 めざす学校の姿

- (1) 自己肯定感を高める学校
「学校が楽しい」と肯定的評価をする児童、92%を目標とします。
- (2) 児童が主体的に学ぶ学校
「授業に主体的に取り組んでいる」と肯定的評価をする児童、88%を目標とします。
- (3) 地域とともにある学校
「地域や学校をよくするために何をすべきかを考えることがある」と肯定的評価をする児童、80%を目標とします。

6 保護者の方の御意見より

- (1) ホームページについて
来年度も子ども達の頑張る姿をホームページで積極的に発信していきます。授業の様子だけでなく、友達と過ごす姿等、学校の様子をお伝えしていきます。
- (2) 学校行事について
感染症拡大防止対策を講じて、子ども達がやりがいをもって、楽しく活動できるよう、学校行事の日程や内容について、継続・変更・中止を踏まえ、検討していきます。
- (3) 参観懇談会について
本年度は感染症予防及び大規模耐震工事のため、参観会の延期や懇談会の中止等、御迷惑をおかけしました。来年度は、感染症拡大予防対策をとりつつ、参観懇談会を計画していきます。